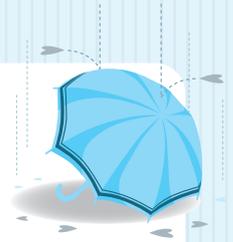


# 梅雨どきを控え災害対策は万全ですか？



大雨や強風などによる災害から身を守り、災害による被害を最小限に食い止めるには、日ごろから準備をしておくことが大切です。

最新の気象情報に注意を払う習慣を身につけるとともに、家庭や地域で非常時の避難場所や非常持ち出し品を確認して災害に備えましょう。また、不安や危険を感じたら早めに避難しましょう。

## 雨に注意しましょう

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。長雨や大雨で危険だと思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

## 逃げ方を覚えましょう

土石流は速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

## 避難場所を決めておきましょう

日ごろから家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。災害が起きた時、家族全員が一緒にいるとは限りません。そんな時でもあらかじめ避難場所を決めておけば安心です。

市内の避難場所については、次のページに掲載しています。

# 災害に備えて防災パトロール



台風や梅雨時期の集中豪雨などによる風水害の多発期を前に、5月28日(金)午前9時から、市内の災害危険地域の防災パトロールが行われました。パトロールには市役所・県東部振興局・県国東土木事務所・消防団・自衛隊・国東警察署・市消防本部などから関係者約40人が参加し、土砂崩れの恐れがある斜面など5カ所の現地調査を行いました。

それぞれの現地では、市や県の職員から各危険箇所の現状や今後の対策についての説明がされ、入念に現状の確認を行いました。現地調査後行われた判定会議では、4カ所を新規に危険箇所に指定し、今後の対応策について協議しました。



▲市内の危険箇所を調査する関係者

## 今年度、新規に指定された危険箇所

危険箇所名	地区	予想被害名
東中川	国見町中	土石流
中岐部川	国見町岐部	土石流
影川	国見町大熊毛	土石流
読川上池	国東町重藤	水害